



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年10月25日

上場会社名 株式会社 丸運

上場取引所 東

コード番号 9067 URL <http://www.maruwn.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 荒木 康次

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 小菅 睦司

TEL 03-6861-3411

四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日

配当支払開始予定日

平成29年12月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	23,899	6.5	354	64.4	410	54.3	248	210.2
29年3月期第2四半期	22,438	△4.5	215	△2.0	265	1.8	80	—

(注)包括利益 30年3月期第2四半期 491百万円 (—%) 29年3月期第2四半期 △35百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	8.61	—
29年3月期第2四半期	2.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	37,229	21,042	56.3	726.07
29年3月期	37,052	20,666	55.6	713.15

(参考)自己資本 30年3月期第2四半期 20,975百万円 29年3月期 20,602百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
30年3月期	—	4.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,600	3.1	1,138	29.2	1,200	22.6	780	36.2	27.00

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期2Q	28,965,449 株	29年3月期	28,965,449 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

30年3月期2Q	76,728 株	29年3月期	76,519 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期2Q	28,888,831 株	29年3月期2Q	28,889,234 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報を基礎とした判断および仮定に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書および四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国の経済は、雇用情勢の改善による家計部門の所得の増加や株価の持ち直し等を背景に消費者マインドが改善されたこと、また企業の設備投資の増加等による内需の伸びを主要因として堅調に推移しました。

これら内需の伸びを背景に国内の貨物輸送総量も増加基調となっていますが、陸運業界では、価格競争激化による収益の低迷およびトラック乗務員や構内作業員の不足等の構造的な課題が依然として改善されておらず、厳しい経営環境が続いています。

海外経済では、北朝鮮情勢と米国政治の混乱が世界経済への不安要素としてあるものの、米国経済は雇用情勢の改善と設備投資の増加基調を背景に緩やかな景気拡大が続いており、ユーロ圏経済も雇用情勢の持ち直しと金利低下による所得環境の改善から個人消費が堅調に推移し景気が緩やかに拡大、また中国経済も政策効果による景気の持ち直しが続いており、我が国の輸出をとりまく環境は改善されつつあります。

このような状況下にあつて、当社グループは長期経営ビジョン（毎年継続して2%以上成長）の達成のために、「丸運イノベーション」の展開を図り、引き続き第二次中期経営計画を着実に遂行し、企業価値の向上に努めています。

これらの結果、営業収益は、貨物輸送で既存顧客の取扱数量の増加、国際貨物で輸出取扱数量の増加、および流通貨物で国内野菜の保管・配送業務が好調であったこと等を主要因として、前年同期比14億60百万円増の238億99百万円となりました。

経常利益は、貨物輸送で軽油価格の上昇等によるコストアップ影響が一部であったものの、国際貨物での輸出取扱数量が大幅に増加したことおよび流通貨物での国産野菜の配送・保管取扱数量増加等を主要因として、前年同期比1億44百万円増の4億10百万円となりました。

セグメント別の業績概況は次のとおりであります。

《貨物輸送》

当部門では、トラック貨物輸送と保管貨物で既存顧客との取引拡大が図れたこと、および機工部門で重量品搬入据付業務の大口取引を獲得できたこと等により増収となりましたが、軽油価格の上昇分を一部運賃に転嫁できなかったことや関西地区での物流センター統廃合にともなう一時費用の発生等の影響により減益となりました。

これらの結果、営業収益は前年同期比4.9%増の119億36百万円、経常利益では前年同期比3.2%減の2億97百万円となりました。

《潤滑油・化成品》

潤滑油事業は、主として京葉地区および関西地区での配送数量の増加により増収増益となりましたが、化成品事業は、天候影響等で一部地域での配送数量が減少したことと一部作業受託部門での経費増加等の影響で減収減益となりました。

これらの結果、潤滑油・化成品部門では、営業収益は前年同期比1.3%増の24億16百万円、経常利益は前年同期比7.1%減の55百万円となりました。

《流通貨物》

当部門では、国産野菜が豊作であったことから保管・配送業務が大幅に増加したこと、また昨年度開所した神奈川流通センターでのフローゼンチルド流通加工事業、多温度帯通販事業および共同配送物流事業が順調に推移したことから増収増益となりました。

これらの結果、営業収益は前年同期比45.5%増の4億25百万円となり、経常利益は前年同期比32百万円改善の14百万円となりました。

《国際貨物》

当部門では、国内主要顧客の堅調な輸出を背景に海上貨物輸送および航空貨物輸送の取扱量がともに増加し、海外事業でも丸運物流(天津)有限公司の重量品貨物輸送をはじめとした中国国内貨物輸送が好調に推移し取扱量が大幅に増加しました。

これらの結果、営業収益は前年同期比24.3%増の33億24百万円、経常利益は前年同期比1億17百万円増の83百万円と増収増益となりました。

また、本年8月10日に、ベトナムにおける物流事業の展開のためベトナムハノイ市に「有限会社丸運物流ベトナム」を設立いたしました。今後は、日本・中国・ベトナムの3拠点間のクロスボーダー取引拡大を図ります。

《石油輸送》

当部門では、国内石油製品需要の減少影響等による輸送数量の減少はあったものの石油基地等の受託業務関係収入が増加したことで増収となり、経常損益も改善しました。

これらの結果、営業収益は前年同期比1.5%増の57億70百万円となり、経常損益は前年同期比8百万円改善したものの25百万円の経常損失となりました。

当期のセグメント別の営業収益および経常利益は次のとおりです。

セグメント	営業収益	前年同期比	経常利益	前年同期増減額
貨物輸送	11,936百万円	104.9%	297百万円	△9百万円
潤滑油・化成品	2,416	101.3	55	△4
流通貨物	425	145.5	14	32
国際貨物	3,324	124.3	83	117
石油輸送	5,770	101.5	△25	8
その他	25	113.6	△14	△0
合計	23,899	106.5	410	144

- (注) 1. その他の事業は、損害保険代理店業および事務代行業等であります。
2. 営業収益には、消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当期末の総資産は372億29百万円となり、前期末に比べ1億76百万円増加しました。

この主な要因は、受取手形及び営業未収入金の増加2億73百万円、納税等による現金及び預金の減少5億22百万円、ベトナムの在外子会社設立にともなう子会社株式取得や保有株式の評価益にともなう投資有価証券の増加4億9百万円によるものであります。

負債合計は161億86百万円となり、前期末に比べ1億99百万円減少しました。この主な要因は、季節差による営業未払金の減少4億90百万円、預り金や繰延税金負債及び未払消費税が2億75百万円増加したことによるものであります。

純資産合計は210億42百万円となり、前期末に比べ3億76百万円増加しました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益を2億48百万円計上したことによる増加、配当金の支払による減少1億15百万円、有価証券評価差額金の増加2億5百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は前期末の55.6%から56.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は、貨物輸送事業については増収、国際貨物事業では増収増益となり、前回発表予想を上回ることとなりました。第3四半期以降については、当初の見込み通り推移すると予想されることから、通期業績予想を以下の通り修正いたします。

		今回修正予想	前回発表予想	増減率
営業収益	百万円	48,600	48,000	1.3%
営業利益	百万円	1,138	1,038	9.6%
経常利益	百万円	1,200	1,100	9.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	百万円	780	715	9.1%
1株当たり当期純利益	円・銭	27.00	24.75	

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,569	1,047
受取手形及び営業未収入金	6,581	6,855
商品及び製品	2	3
原材料及び貯蔵品	33	50
その他	908	1,039
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	9,092	8,992
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,476	5,248
土地	17,132	17,131
その他(純額)	2,458	2,606
有形固定資産合計	25,067	24,986
無形固定資産	276	262
投資その他の資産		
投資有価証券	2,062	2,472
その他	690	649
貸倒引当金	△136	△134
投資その他の資産合計	2,616	2,987
固定資産合計	27,959	28,236
資産合計	37,052	37,229
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	4,081	3,590
短期借入金	3,305	3,315
未払法人税等	316	206
賞与引当金	599	593
その他	1,799	2,096
流動負債合計	10,102	9,802
固定負債		
長期借入金	1,687	1,699
再評価に係る繰延税金負債	1,937	1,937
退職給付に係る負債	2,210	2,235
役員退職慰労引当金	55	49
厚生年金基金解散損失引当金	45	45
その他	347	416
固定負債合計	6,283	6,383
負債合計	16,385	16,186

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,559	3,559
資本剰余金	3,077	3,077
利益剰余金	11,156	11,290
自己株式	△21	△21
株主資本合計	17,772	17,906
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	640	845
土地再評価差額金	2,480	2,480
為替換算調整勘定	△73	△63
退職給付に係る調整累計額	△217	△193
その他の包括利益累計額合計	2,829	3,069
非支配株主持分	64	67
純資産合計	20,666	21,042
負債純資産合計	37,052	37,229

(2) 四半期連結損益計算書および四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業収益	22,438	23,899
営業原価	20,767	22,080
営業総利益	1,670	1,818
販売費及び一般管理費	1,455	1,464
営業利益	215	354
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	29	33
その他	41	42
営業外収益合計	72	77
営業外費用		
支払利息	16	14
その他	5	6
営業外費用合計	22	21
経常利益	265	410
特別利益		
固定資産売却益	22	24
その他	0	2
特別利益合計	23	26
特別損失		
固定資産除売却損	0	5
減損損失	25	1
解約違約金	-	8
訴訟和解金	-	5
その他	1	-
特別損失合計	28	20
税金等調整前四半期純利益	261	416
法人税、住民税及び事業税	151	181
法人税等調整額	23	△17
法人税等合計	174	164
四半期純利益	86	252
非支配株主に帰属する四半期純利益	6	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	80	248

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	86	252
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△35	205
為替換算調整勘定	△108	10
退職給付に係る調整額	21	24
その他の包括利益合計	△122	239
四半期包括利益	△35	491
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△34	488
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。